

#### (4) 港 湾

○酒田港における輸移出入貨物取扱量は、平成4年以降、350万～400万トンの範囲内で横ばい状態が続いていた。平成15年にはじめて400万トンを超え、平成17年は過去最高の410万トンとなったが、平成20年は383万トンである。

平成20年の外国貿易は、輸出が127,657トン、輸入が2,079,922トンであった。輸出入の品目内訳をみると、輸出では「金属くず」と「再利用資材（古紙、廃プラ）」で全体の79.5%を占め、輸入では、石炭と原木で96.1%を占める現状にある。なお、石炭195万トンについては主に、中国、オーストラリア、韓国より輸入されている。

酒田～釜山定期コンテナ航路は平成7年5月9日に開設し、週2便体制で運行されていたが、平成20年2月から週1便体制となり、現在次の航路が民間会社で運営されている。

##### (1) 酒田～金沢～境港～釜山～秋田～酒田

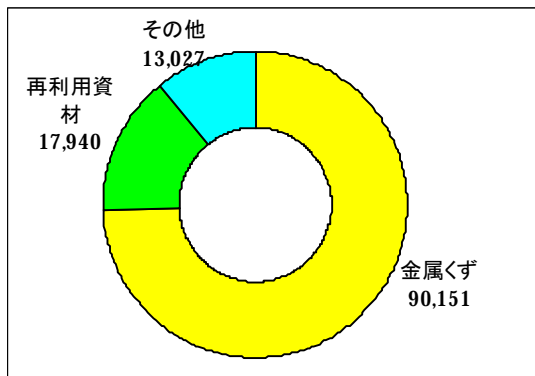
取扱個数をみると、平成11年までは順調に伸びていたが、平成12年、平成13年は5,700個台で推移した。平成14年に一旦減少したものの、その後増加に転じ、平成18年には7,591個と過去最高となったが、平成20年は6,052個となった。

【表49】輸移出入貨物取扱量の推移

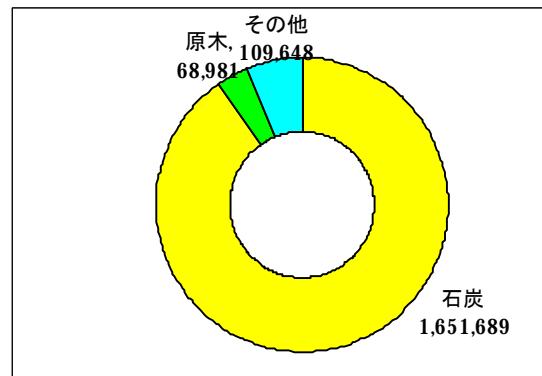
(単位；t)

区分	昭和62年	平成4年	平成9年	平成14年	平成20年
輸移出	315,542	449,859	531,728	550,458	963,773
輸移入	2,400,266	3,483,876	3,208,525	2,829,066	2,875,304
計	2,715,808	3,933,735	3,740,253	3,379,524	3,839,077

【図17】輸出貨物品種 127千トン



【図18】輸入貨物品種 2,079千トン



資料：酒田港統計年報

【表50】釜山定期航路の利用状況

単位：TEU

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
コンテナ	5,399	6,903	6,736	7,591	7,052	6,052
便数	91	71	86	83	68	57
1便当り	59.3	97.2	78.3	91.5	103.7	106.2

資料：酒田港統計年報